

自分の興味が

ある専門分野を深く学んでい

て応援し合える仲間に恵まれたことは、留学したから

笑顔で、関係する全ての人

こそが重要。最高の

学と地域の架け橋に。

P15 _ もっと知りたい! 金沢大学の外国人留学生

Challenge! 金沢大生

特集

金沢大学は、教育面でのさまざまな取り組みによって質の高い学びを提供するとともに、学生が「チャレンジ」できる学びの環境を用意しています。

学域学類制（3学域17学類）

金沢大学では、「学部・学科」よりも幅広い枠組みである「学域・学類」で大学生活をスタートし、基礎を学びながら自身の専門テーマを探っていくことができます。平成30年度には、社会のニーズに対応するため、学類再編によって3学域17学類となり、より充実した自由な学びを提供しています。

人間社会学域

人文学類 | 法学類 | 経済学類 | 学校教育学類 | 地域創造学類 | 国際学類

理工学域

数物科学類 | 物質化学類 | 機械工学類 | フロンティア工学類 | 電子情報通信学類 | 地球社会基盤学類 | 生命理工学類

医薬保健学域

医学類(6年制) | 薬学類(6年制) | 創薬科学類 | 保健学類

金沢大学<グローバル>スタンダード

[KUGS : Kanazawa University “Global” Standard]

本学が育成する具体的な人材像を、5つの基準で表したものです。知識基盤社会やグローバル化が進む国際社会において、常に恐れることなく現場の困難に立ち向かっていくために必要な能力・体力・人間力を備えた人材の育成を目指し、本学はKUGSに基づいた教育カリキュラムを提供しています。

教育カリキュラム

本学で履修する授業科目は、共通教育科目と専門教育科目に大きく区分されています。共通教育科目は主に低学年で履修し、大学に必要な「基礎」を養い、専門学習や海外留学への土台をつくります。専門教育科目では、自身の専攻する分野を学び、専門的な知識を身に付けます。

PICK UP - 共通教育科目 -

GS(Global Standard) 科目

KUGSで示された具体的な能力を獲得するために設定された科目群です。大学が厳選した30の科目を通して、KUGSの能力を育み、学びの基礎力を高めます。

GS言語科目

大学の授業や研究などで必要になる英語力の向上を目指すコースと、将来役立つ英語力およびTOEICスコアの向上を目指すコースにより、実践で役立つ英語が身に付きます。

- 1_ 自己の立ち位置を知る
- 2_ 自己を知り、自己を鍛える
- 3_ 考え・価値観を表現する
- 4_ 世界とつながる
- 5_ 未来の課題に取り組む

学年	授業科目の配置
1年	共通教育科目 導入科目
2年	GS科目 GS言語科目 基礎科目
3年	初習言語科目 自由履修科目
4年	専門教育科目 学域GS科目 学域GS言語科目 専門基礎科目 専門科目 (教職科目)
}	

本学の授業科目は学年が上がるにつれ、基礎から専門へなだらかに切り替わるように配置されており、学生が無理なく学びを深めていける教育環境となっています。

INTERVIEW

平成30年度の新入生に、大学で挑戦したいことや将来の夢を聞きました！

Challenge!



大学の実験装置を使いこなせるようになって、まだ誰もやったことがない研究がしたいです。

カッコいい“私の街”をつくるのが夢！広い視野を持って勉学に励みたいです。

岩田 真仲 さん
理工学域生命理工学類

泉並 紬 さん
理工学域地球社会基盤学類

近代文学について研究して、将来は日本語の美しさをたくさんの人に広めたいです。

幕末の日本史を学びたいと思っています。サークル活動にも打ち込んで、新しい人間関係を築きたいです。

堀内 真悠子 さん
人間社会学域人文学類

清野 彩夏 さん
人間社会学域人文学類

Challenge!



海外留学でたくさんの人と友達になって、さまざまな文化や価値観を体験したい。将来は立派な医師になりたいです。

信濃 未玖 さん
医薬保健学域医学類

薬学はもちろん、哲学など理系以外の分野も学びながら、薬剤に携わる人として一人前になりたいです。

清水 菜々子 さん
医薬保健学域薬学類・創薬科学類

Challenge!



母校の教師を目指しています。そのために英語学習に励んで、英語4技能のエキスパートになりたいです。

新谷 蓮 さん
人間社会学域学校教育学類

大学生活ではいろいろな人と話して自分の知見を広めたい。これからの寮住まいも楽しみです。

上田 力都 さん
人間社会学域学校教育学類

中学・高校で学ばなかったことや、自分の興味がある専門分野を深く学んでいきたいです。

山谷 昌平 さん
人間社会学域地域創造学類

Challenge!



理学療法をしっかりと学んで、スポーツトレーナーになるのが目標。ゆくゆくは、プロ野球選手と交流したいです。

松井 拓真 さん
医薬保健学域保健学類

医療人として人の役に立ちたい。困っている人たちのために、自分にできることをしたいです。

中村 一希 さん
医薬保健学域保健学類

Challenge!



学類選択では、フロンティア工学類を考えています。最先端の工学を学んで、重機の開発者になりたいです。

泉谷 祐樹 さん
理工学域
(理工3学類前期一括入試による)

Challenge!



01 金沢大学で Challenge!

本学には、学生の挑戦を後押しする充実した教育カリキュラムがそろっています。実際に授業や研修を受けている学生の声も交えて、その一部を紹介します。

▶ 地域で Challenge!

まちづくりインターンシップ

人間社会学域地域創造学類 地域プランニングコース

まちづくりには、現場で地域の現状を理解することが必要不可欠。本コースの必修科目であるまちづくりインターンシップでは、自治体や特定非営利活動法人(NPO)などで、住民への調査、イベントの企画、政策提案などを行うことによって、まちづくりに必要な力を身に付けます。



森本 あゆみ さん

人間社会学域地域創造学類3年

女性が地域について議論する場をつくるため、女性限定ワークショップを企画。自分のアイデアが実現でき、自信ができました!



聞き取り調査で住民の想いを肌で感じます



富田 康平 さん

人間社会学域地域創造学類3年

地域の現状を体感し、視野が広がりました。祭りの運営、イベントや広報活動の提案、観光マップの制作など、幅広く活動しました。

▶ 宇宙へ Challenge!

金沢大学衛星プロジェクト

理工学域, 自然科学研究科

学域4年生から大学院生が参加する超小型衛星の開発プロジェクト。最先端の宇宙理工学を学ぶとともに、宇宙観測・研究に取り組むことで、次世代の宇宙理工学を担う人材を育成します。2~3年に1度打ち上げを実施するため、衛星の開発から観測までの全てを在学中に経験できます。



衛星の製作は少しのズレも許されない細かい作業が必要とされます



中嶋 拓也 さん

大学院自然科学研究科電子情報科学専攻博士前期課程1年

めったにできない貴重な経験ができるのが魅力で、製作作業は始めると止まらなくなるくらい熱中しています。作業や研究は難しいですが、今年宇宙理工学コースが新設されたことで専門知識を学ぶ機会が増え、衛星の開発にも早速生かしています。

▶ 国家資格に Challenge!

平成29年度の薬剤師国家試験は合格率全国第1位、医師国家試験は国立大学で合格率第1位! 本学の高い国家資格取得率を支えるのは、実習をはじめとした充実したカリキュラムです。

薬局実習I

医薬保健学域薬学類

薬局薬剤師の業務を体験し、倫理観と責任感のある薬剤師になるための知識、技能、態度を学ぶ実習。知識の定着と共に、患者第一の考え方を養います。



橋本 恵幸 さん

医薬保健学域薬学類5年

患者さんへの接し方や薬剤の扱い方など、現場だからこそ気付けることが多く、勉強になります。



宮川 雄一 さん

医薬保健学域薬学類5年

座学で習ったことも、実習を通してより深く学べ、理解ができていなかった部分を再確認できました。

基本的臨床手技実習

医薬保健学域医学類

5年次以降の臨床実習が円滑に行えるよう、医療面接や身体診察の重要性を理解し、基本的な技能や態度を身に付けます。



富澤 咲良 さん

医薬保健学域医学類4年

医療面接や採血実習などたくさんの実習があり、緊張しますが楽しいです! 人とのつながりを大切にしたい医師を目指して、座学で学んだ知識を患者さんのためにどう活用すべきか考えながら取り組んでいます。

▶ 海外での学びに Challenge!

グローバルに活躍できる人材を育成するため、各学類・研究科で独自の海外交流プログラムを用意しています。

数物科学東アジア学生交流プログラム

理工学域数物科学類

インドネシアのバンドン工科大学で現地の学生と共に数学・物理学・計算科学を幅広く学びながら、国際交流を通して異文化理解を深めます。



北條 壮紀 さん

理工学域数物科学類2年

授業で積極的に発言する現地の学生らと共に学べたことは、とても刺激になりました。言葉が通じない相手とのやり取りは難しく、挑戦する勇気を学べました。

学域GS言語科目I・II(シンガポール)または 経済学特講C

人間社会学域経済学類

各国のグローバル企業が進出するシンガポール。企業訪問などを通して国際経済学や開発経済学の学びを深めながら、語学力向上も目指します。



長田 優衣 さん

人間社会学域経済学類3年

現地の日本企業を訪問し、経済をより広く深く学びました。経済学という視点で国外から日本を見る貴重な経験ができました。

02 海外で Challenge!

海外留学は、国際性豊かな感性を磨くとともに、広い視野を養うチャンスです。本学では、多くの学生が海外留学にチャレンジしています。



大石 綾乃 さん

医薬保健学域薬学類・創薬科学類2年

留学先
▼

モンクット王工科大学
トンブリ(タイ)

参加プログラム
▼
海外留学
ファーストステッププログラム in タイ

タイで異文化を体験。言葉の壁を乗り越えて得た自信

英語への苦手意識もあり、海外留学はハードルが高いと感じていました。1年生の秋に先輩からファーストステッププログラムを勧められて背中を押され、春休みに思い切って参加することに。初めて留学する人向けのこのプログラムでは、金沢大学の国際交流協定校であるモンクット王工科大学トンブリでの英語クラスの受講に加え、日常的なタイ語の表現も学習。また、お祭りや料理、世界遺産探訪と多くのタイ文化に触れ、日本文化との違いを直に感じる事ができました。

特に印象に残っているのは、協定校で開催されたタイ人学生向け留学フェアに金沢大学としてブースを出展し、日本文化を紹介したことです。みんなで協力して準備をしていましたが、訪れるタイ人学生に公用語と思っていた英語が通じず、意思伝達の難しさに直面しま

した。身振り手振りを交えながら英語と研修で習ったタイ語を駆使し、思いが通じ合ったときはとても嬉しかったです。見知らぬ土地で臨機応変に対応し、困難を乗り越えられたことが良い経験となり、相手の思いを聴き、自分の思いを伝えることをより大切にするようになりました。今後も、未経験のことに恐れずに挑戦し、異文化や他言語の国の方との交流を深めていきたいです。



留学フェアで現地学生に日本文化を紹介

外資系コンサルタントを目指し、オーストラリアで大きく成長

大学で切磋琢磨できる友人と出会い、自分がやりたいことを模索していたときに、外資系コンサルタントに憧れを抱き、職業として目指すようになりました。以降、将来を見据えて、英語や会計学、経営学の勉強をしていましたが、より専門的かつ実践的な力を在学中に修得したいという思いが強くなり、シドニー工科大学への1年間の留学を決意。同大では、理論だけでなくビジネスにおける実践も重視した授業が展開され、実社会で生かせる知識を身に付けることができました。さらに、外国人留学生のサポート学生を紹介する支援制度を通じて同じ専門を専攻する同志の輪を広げる中で、外資系金融機関で社会人経験を持つ学生と出会いました。彼女とは、キャリアプランや専門分野の関心などさまざまなことを語り、帰国後の今でも刺激

を与え合う存在となっています。国を越えて応援し合える仲間恵まれたことは、留学したからこそ何にも代えがたい財産です。帰国後は、学生留学生宿舍「北溟」に住んでいます。互いに高め合える仲間や先輩との出会いで成長できた分、今度は自分が外国人留学生や後輩の日本人学生を支え、恩返ししたいと思っています。



専門科目の受講に当たり語学をサポートしてくれた先生と



嶋田 貴之 さん

人間社会学域経済学類4年

留学先
▼

シドニー工科大学
(オーストラリア)

参加プログラム
▼
派遣留学
(トビタテ!留学 JAPAN 日本代表プログラム)

金沢大学の海外留学プログラム

世界で活躍する「金沢大学ブランド」の人材育成を目的に、在学中の留学や海外短期研修を推奨しており、さまざまな海外留学プログラムを提供しています。

● 短期研修

主に夏休みや春休みを利用して参加する短期の海外研修です。



海外異文化体験・語学研修

- 海外異文化体験 : 本学の交流協定校での異文化交流・体験を重視したプログラム
- 語学研修 : 一般的あるいは専門分野の英語、第2言語の習得を重視したプログラム



海外インターンシップ・専門実習

- 海外インターンシップ : 海外の企業や関連団体などで就業体験し、国際的に活躍できる実践的な能力を身に付けるプログラム
- 専門実習 : 各学域・研究科で学ぶ専門分野に応じて、フィールド調査や研究機関等での研究を行うプログラム

● 派遣留学



本学が「学生交流の覚書」を交わしている世界の交流協定校に学生を推薦して派遣する、半年間から1年間の留学プログラム。本学と交流協定校が、留学の申請から帰国までをサポートするため安心です。留学先の大学等への授業料負担は必要なく、単位互換制度を利用できる場合には、卒業時期を遅らせることなく卒業ができます。

Support!

クォーター制

本学では、平成28年度からクォーター制を導入しています。海外の大学で主流のクォーター制に合わせることで、海外留学プログラムに参加しやすくなっています。

学年	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年	第1クォーター		第2クォーター		夏休み		第3クォーター		第4クォーター		春休み	
海外留学プログラム例					サマープログラム		多様な海外派遣プログラム		多様な海外派遣プログラム		多様な海外派遣プログラム	
					多様な海外派遣プログラム		多様な海外派遣プログラム		多様な海外派遣プログラム		多様な海外派遣プログラム	
					海外インターンシップ		語学研修		海外インターンシップ (翌年5月まで)		海外インターンシップ (翌年5月まで)	

キャンパス内での国際交流

学生留学生宿舍「先魁」「北溟」

日本人学生と外国人留学生が1つのユニットで共に生活するシェアハウスタイプの学生宿舍。日本人学生は、日本にいながら海外の文化や習慣に接することができるほか、外国人留学生にとっての身近で心強い存在となります。互いを尊重しながら異なる文化や習慣を受け入れ合う中で、国際感覚を身に付けることができます。



金沢大学スーパーグローバルELPセンター

米国タフツ大学と連携した英語プログラムとして、学生向けに「TOEIC/IELTS対策」「海外留学対策」の2コースを開講しています。同大学講師が本学に常駐し、少人数の英語トレーニングを実施。コミュニケーションを重視した授業を展開し、英語力を高めるとともに、自身の専門分野に関する課題について英語で意見を伝える力を養います。



03 卒業後も Challenge!

Tatsuki
Kinbara



きんばら たつき
金原 竜生 さん

愛知県出身。平成22年度法学部法政学科卒業。京都の大手電子部品メーカーで海外営業などを経験し、平成29年明和工業株式会社に入社。

明和工業株式会社

海外事業部 マネージャー /
国内営業部 サブ・マネージャー / 法務室 室長

金沢から世界へ バイオマス市場を切り拓く

明和工業株式会社は石川県金沢市にある、主にバイオマス炭化装置の研究・開発・製造を行う企業です。その中で私は、国内外への営業を担当しています。海外の主な営業先は、廃棄物処理の問題が顕在化する発展途上国。政府や民間企業に向けて、廃棄物処理と自然肥料製造を実現する炭化装置を販売しています。現在、国内外で注目されるバイオマス市場を自ら開拓していけることに、日々やりがいを感じています。

大学時代に所属していたのは知的財産法ゼミ。半期に4回あるゼミ発表では、毎回テーマに関連する文献や判例を読み込み、発表班での議論も昼夜問わず行いました。その中で身に付いた最後までやり遂げる粘り強さは、現在の仕事の糧となり、またそこで得た知識は、知的財産を扱う法務室での業務に生かされています。

大学時代を過ごした、大好きな金沢。私の今後の目標は、「日本の信頼できる環境装置メーカー」として、弊社の海外での地位を築き上げること。金沢が生んだ技術を、世界に向けてさらに普及させていきたいです。

※バイオマス炭化装置：炭化処理によって有機物を再資源化する装置。生産した炭は、燃料や自然肥料として利用できる。

PICK UP - 仕事の1シーン -



アフリカのボツワナ政府への営業では、大統領府大臣にお会いしました。現在、炭化装置による同国の廃棄物処理および炭肥料を使った農業発展の仕組みを提案中です。

Sawako
Furuya



ふるや さわこ
古屋 佐和子 さん

岐阜県出身。平成26年度理工学域機械工学類卒業。
平成28年度大学院自然科学研究科機械科学専攻修了。

株式会社本田技術研究所

四輪 R&D センター 第8技術開発室

幅広い視点で開発を行い、 より良い製品を世の中へ

現在私は、自動車用カーナビゲーションのシステム開発に携わっています。開発に当たっては、ユーザーにとっての「使いやすさ」を、機能や性能、デザインなどの多方向から考慮し、アイデアを練っていきます。在学中に学んだ、人間の動作などを分析して機械設計に応用する人間工学の専門知識が、今の仕事の土台になっています。さらに、開発に向けたアイデアを生み出す際には、アントレプレナーコンテストで培った知識や経験が大きく生かされています。コンテストの前に行われるセミナーや個別指導では、自分のアイデアを商品化するための知識やノウハウを学びました。当時の大きな発見は、商品考案時に、子ども向け商品を親が購入するなど、ユーザー以外が購入者となる場合も考慮する必要があること。表面的な事柄だけでなく、商品がユーザーに届く過程も含め、幅広い視点でアイデアを練る大切さを知りました。

年齢や役職を問わず、全員が自由な発想でものづくりに取り組むこの会社で、これからもより良い製品を世に送り出していきたいです。

※アントレプレナーコンテスト：金沢大学ベンチャー・ビジネス・ラボラトリーが主催する、学生の起業マインドの養成などを目的としたコンテスト。

PICK UP - 在学中の思い出 -



平成28年度アントレプレナーコンテストでは、プログラミングの知識や技術を顧客間で共有するサービス「シェアテクノロジー」を発表し、優秀賞を受賞しました。

本学での学びを経て社会に羽ばたき、さまざまなフィールドで活躍する卒業生に、在学中の経験や現在の仕事への思い、今後の展望などを伺いました。

Sakurako
Tsutsumi



つづみ さくらこ
堤 桜子 さん

滋賀県出身。平成28年度人間社会学域経済学類卒業。

東レ株式会社

ケミカル事業部有機化学品課

素材の力で人々の生活を より良いものに

中学・高校時代に海外留学を経験して、発展途上国の経済発展に貢献したい、海外を舞台に働きたいと考えるようになりました。大学2年生のとき、マレーシアのマラヤ大学に約1年間留学し、発展途上国の経済問題を分析する開発経済学を学び、休日には東南アジアの国々に赴いて、各地の経済の実情などを見て回りました。その中で気付いたのは、各地で売られている輸入製品に、日本の素材や部品が多く使われていること。さまざまな製品に姿を変え、現地の生活を支えている素材の力を目にし、その流通に関わる仕事に興味を持つきっかけとなりました。

現在私が担当するのは、ポリエステルやシリコンの原料の営業です。顧客の9割が海外の方なので、その国の市況や顧客の業種なども幅広く考慮して、商品を提案することを心掛けています。日々アンテナを張り、今後どのような素材が社会に必要とされるかを考えていると心が弾みます。今後は海外で、特に、入社のかっけとなった東南アジアに駐在して働きたい気持ちがあります。お客様により近い環境でニーズを探り、素材の力で、現地の人々の生活をより良く変えていきたいと思っています。

PICK UP - 留学中の思い出 -



マレーシア留学中には、日本文化を紹介するイベントなど、さまざまな催しに参加しました。東南アジアの学生や社会人と交流を深め、多くの友人ができました。

Hisahiro
Mukai



むかい ひさひろ
向井 永浩 さん

岐阜県出身。平成13年に本学卒業後、国内大手システムメーカーや外資系ITベンチャー企業を経て、平成24年に株式会社Nextremerを創業。

株式会社Nextremer

代表取締役 CEO

AIの社会実装を目指し、 さらなるイノベーションを

「現状維持は衰退の一方であり、変革こそが安定の源である」。これは大学在学中、私の中に生まれた言葉です。当時、インターネットの急速な普及やIT系ベンチャー企業の躍進に、大きな衝撃を受けました。急速に変化する社会に私たちはどう立ち向かうべきか。大学の仲間たちと語り合い、常識や既存の枠組みに捉われずにチャレンジする姿勢こそが重要という結論に至りました。前述の言葉は、現在の私の行動指針であり、自身を動かす原動力にもなっています。

我が社は人工知能(AI)の社会実装を目的に、企業のAI活用支援と、関連する先端技術の研究開発に取り組んでいます。この分野に着手したのは、現在も共同研究を行っている、ある自動車メーカーの研究者の方々との出会いがきっかけです。現在のAIブームより随分前からAIの研究に取り組み、先の見えにくい領域を探索する姿勢に感銘を受け、彼らと同じ領域で勝負したいと思いました。社会にとって価値ある技術を創造し、AIの存在を"fun to have(楽しいから持つ)"から"must-have(なくてはならない)"まで昇華させたい。その思いで、今後もさらなるイノベーションを生み出していきます。

PICK UP - システムの活用事例 -



我が社が開発した対話システム「minarai」を、空港の施設案内に活用いただいた事例です。このシステムは、自動車や不動産など、他の業界でも多様に活用されています。

04 課外活動で Challenge!

本学には数多くの部活動やサークル、学生団体があり、日々精力的に活動しています。そこで活躍する学生らの姿をピックアップして紹介します。

Soccer



サッカー部

活動日 火・水・金・土・日

1部リーグ上位を目指し、人工芝ピッチで日夜練習

今年度の第46回北信越大学サッカーリーグから1部リーグで戦っているサッカー部。この春、「金沢大学スポーツ・地域活性化ドリームプロジェクト」によって人工芝ピッチが学内に整備され、より充実した練習環境が整いました。照明も設置され、日没が早い季節も、講義後の練習が可能に。1部リーグで上位に入れるよう、サッカー部の新たな挑戦が始まりました。

POINT!



日が落ちてからも明るく照らされた人工芝ピッチ。部員らの練習にも熱が入ります。

A cappella



アカペラサークル MeloMelo

活動日 金 + 自主練習・ライブ

響き合うハーモニーを届けたい

「音楽にメロメロになろう」というサークル名の由来通り、音楽のジャンルや活動の仕方を問わずたくさんの音楽好きが集まっています。ばらばらだった声が綺麗なハーモニーを奏でる喜びの瞬間を求め、日々練習に励んでいます。ライブは一からつくりあげるため、企画や営業、運営など、全てメンバーで行います。

POINT!



ライブで人前に立つことが多いため、ゼミでの発表などでも堂々と振る舞えるようになります。

オリエンテーリング部

活動日 月～金 + 土日は大会・練習会

知能と体力を駆使して日本のトップクラスへ

地図とコンパスを頼りに、野外に設けられたチェックポイントをたどり、ゴールまでの所要時間を競う「オリエンテーリング」。大学周辺には公園や森があり、練習には最適です。恵まれた環境で練習を重ね、平成29年度日本学生オリエンテーリング選手権大会では、リレーで男子優勝、ミドル・ディスタンスで男女共に2位など好成績を収めています。

POINT!



毎年春には部として大会を主催！日々山の楽しさを感じながら活動しています。

Orienteering



金沢大学雪かきボランティア

活動日 不定期で月1回～週1回(自由参加)

地域住民の期待に応える存在でありたい

金沢市の人気観光地「ひがし茶屋街」の周辺地域は、少子高齢化に直面しています。ここで、雪かきボランティアは学生の若い力を存分に発揮しています。特に今年の大雪では、何度も通学路や住宅前の除雪を行い、大活躍でした。地域貢献・地域交流を一番の目的とし、清掃活動やイベントの運営など、地域住民の期待に応じて活動の幅を広げています。

POINT!



同地域の活性化に向けたイベントとして、竹灯籠のライトアップを毎年行っています。

Snow Shoveling



Yosakoi



よさこいサークル彩 -IRODORI-

活動日 月・水・土または日

笑顔と感謝の想いを演舞で伝えたい

石川県内のよさこいチームの中で、学生による大規模チームは彩だけ。メンバーは約160名で、大きなお祭りでは100名以上で演舞することもあります。動きをそろえるのは一苦労ですが、日々練習を繰り返し気持ちや動きを合わせていきます。「最高の笑顔で、関係する全ての人へ感謝の想いを届ける」をチームの目標に、心の込めた演舞を披露します。

POINT!



老人ホームなどでボランティア演舞を実施。地域住民との交流も大切にしています！

Broadcaster



金沢大学放送局 web-KURS

活動日 月・木 + イベント・収録など

大学と地域の架け橋を目指して情報発信

「大学の情報を地域に、地域の情報を学内に」をモットーに、学生プロジェクトとして発足。大学広報ラジオ番組の制作やWebサイトでのニュース配信、地域での朗読会など、幅広く活動しています。NHKのラジオコンテスト「ラジプロ」で最優秀賞を受賞するなど、これまでに数々の実績を重ねながら、大学と地域の架け橋となるべく、日々奔走しています。

POINT!



日曜午後3時55分放送「金沢大学Radio Campus」(FM石川)では大学の旬な話題を提供中！

人文学類 **公認心理師を養成する
カリキュラムを整備！**

人文学類では、このたび公認心理師養成のためのカリキュラムを整備しました。これは、保健医療をはじめとしたさまざまな心理臨床分野に貢献することを目的とした新たな試みです。伝統的な学問を重んじつつ、現代の多様なニーズにも応えながら、あらゆる方面から人間の「知」を深めていく新しい人文学類にぜひご注目ください！



心理検査の実習風景

経済学類 **働き方について理解を深める
新授業がスタート**

経済学類は「経済学特別講義I」（石川県、いしかわ学生定着推進協議会との共催）を第1クォーターに開講しました。「ポスト2020の仕事論」「人生における失敗は挑戦しないことである」をテーマに、企業経営者などゲストスピーカー17名が講義し、200名を超える学生が多様な働き方について理解を深めました。



学校教育学類 **スクールサポーター実習を開始**

学校教育学類では、早い時期に教育現場を体験するスクールサポーター実習を行っています。今年も4月から、多くの学生が附属小学校や金沢市内の小中学校で、教師としての実践的な能力を身に付けようと励んでいます。本実習を通して学校や子どもの実態に触れることで、教育に関する知識を学ぶ座学の理解がより一層深まります。



菊川小学校で教頭からガイダンスを受ける学生ら

地域創造学類 **環境保護のための
教育・研究に取り組む**

地域創造学類では、環境保護のための行動を起こせるように働きかける環境教育に取り組んでいます。「環境教育論」の授業では、身近な自然・文化資源に関心を持ち、地球規模の環境問題と自分とのつながりを考え、日常生活でできる取り組みの実践を促します。また、自然体験などを通して、他者にどう働きかけるかを考えています。



ゼミで実施した角間キャンパスでの野外体験活動

医学類 **第112回医師国家試験合格率
国立大学で第1位！**

医学類では卒業を前に、例年2月中旬に医師免許取得のため医師国家試験を受験します。平成29年度は120名が医学類を卒業し、既卒者を含む本学受験者の合格率は96.0％（全国平均90.1％）と、国立大学の中でトップとなりました。今後も魅力ある充実した医学教育で、世界でも活躍できる人材の育成に取り組めます。



平成29年度卒業生

法学類 **第2回エジンバラ大学
法律英語研修を実施**

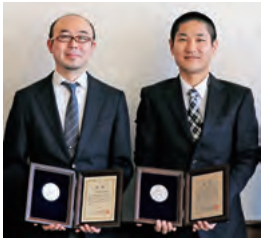
2月下旬から3週間、イギリスのエジンバラ大学にて法律英語研修を実施しました。第2回となるこの研修には法学類生8名が参加し、イギリス法の基礎や司法制度について学ぶとともに、著名な判例を紹介するプレゼンテーションの練習を行いました。また、裁判所や議會を訪れて、見聞を深めるなど、大変充実した研修となりました。



スコットランド議會を見学

数物科学類 **米徳大輔教授、古寺哲幸教授が
日本学術振興会賞を受賞！**

米徳大輔教授と古寺哲幸教授が、創造性に富み優れた研究能力を有する若手研究者に与えられる日本学術振興会賞を受賞しました。米徳教授は「人工衛星搭載ガンマ線偏光検出器によるガンマ線バーストの放射機構の研究」、古寺教授は「ミオシン分子の歩行運動の直接高解像度動画映像の取得」の研究業績が評価されました。



米徳教授（左）と古寺教授（右）

物質化学類 **夏休みは化学実験体験イベントに
参加しよう！**

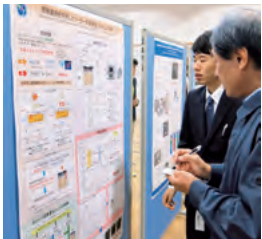
8月7日、高校生が実験を通して最先端のサイエンスを体験する「理学の広場」を開催します。また、高校2年生以上を対象とした8月9日の「キャンパスビジット」では、Webサイトや大学案内だけでは分からない学類の雰囲気や体感できる化学実験体験イベントを実施。どちらも例年、多数の参加者から好評を博している人気企画です。



化学現象を真剣なまなざしで見つめる高校生

機械工学類 **太陽熱を利用した
熱発電システムを開発**

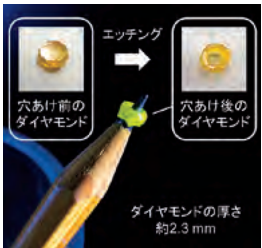
太陽光エネルギーは、その活用が特に期待されている再生可能エネルギーの1つです。熱科学研究室では、太陽熱を利用して熱発電するとともに蓄熱するシステムの開発に取り組んでいます。本学サステナブルエネルギー研究センターが主催する市民向け公開シンポジウムでは、大学院生がこの研究成果について発表しました。



シンポジウムでのポスター発表

電子情報通信学類 **徳田規夫准教授らの研究グループが
ダイヤモンドの高速加工技術を開発**

ダイヤモンドとニッケルとの熱化学反応を用いたダイヤモンドの高速加工技術を開発しました。ダイヤモンドは物質中で最も硬く化学的にも安定した材料ですが、この新しい技術により厚さ約2mmのダイヤモンド基板にわずか数時間で穴をあけることが可能になりました。今後、ダイヤモンド半導体素子開発への応用が期待されます。



ダイヤモンドの厚さ約2.3 mm

フロンティア工学類 **フロンティア工学類が始動！**

新入生を迎えてフロンティア工学類がついに始動しました。さまざまな工学の知識や技術を組み合わせて未踏領域を開拓し、最先端の研究に取り組むことがこの学類の特徴です。自動運転自動車や人を助ける医療福祉機器の技術開発、暮らしを支える新素材開発などで、将来、世界を舞台に活躍するために必要な能力を養います。



フロンティア工学類長 田中志信教授

地球社会基盤学類 **地球外水惑星に
生命存在の可能性を探る**

太古の火星表面には湖や海があったといわれています。また、木星や土星の一部の水衛星の内部には海が広がっているといわれています。水質地球化学研究室が参加する新学術領域研究「水惑星学の創成」では、地球外水惑星に存在する（した）水の化学的性質を予測・復元し、生命存在の可能性を探る研究を行っています。



太古の湖の堆積物を調査する火星探査車「キュリオシティ」(©NASA)

生命理工学類 **これからの社会を担う
元気いっぱい第1期生！**

4月に、生命システム・海洋生物資源・バイオ工学の3コースからなる生命理工学類が発足し、51名の新入生が入学しました。山崎光悦学長からの激励の言葉「他人とは違う自分をつくれ！」を胸に、目覚ましい発展を続ける生命科学やバイオテクノロジーの知識とスキルを修得し、社会に貢献できる人材となることが期待されます。



新入生集合写真

国際学類 **学類開設10周年を記念し
国際学類サロンを開催**

3月17日、国際学類サロン「国際学類のリニューアル」を開催しました。国際系学部先駆けである宇都宮大学の佐々木一隆国際学部長による基調講演の後、本学類担当教員がこれまでの学類の歩みと最新の研究成果を報告。パネルディスカッションでは、本学類卒業生で高校英語教員の遊佐藍さんも交えて議論を深め、実りある時間となりました。



パネルディスカッションの様子

薬学類 **第103回薬剤師国家試験合格率
全国第1位！**

2月に行われた第103回薬剤師国家試験において、金沢大学は全国73大学の中で、合格率第1位となりました。平均合格率が70.5％の中、本学は97.5％と高い合格率を維持し、新卒者は全員が合格。附属病院や市中薬局での充実した実習や、1年次から継続的に基礎学力・問題解決能力を養うカリキュラムの成果が表れました。



薬学類・創薬科学類 **日本薬学会第138年会で
学生らが研究発表！**

3月25日から28日にかけて、日本薬学会第138年会が金沢市内で開催され、多数の本学学生が研究成果を発表しました。薬学類・創薬科学類では、教育者や研究者の育成を目的として研究活動を活発に行っており、この学会においても、口頭発表・ポスター発表それぞれで大学院生が学生優秀発表賞を受賞しています。



保健学類 **検査技術科学専攻で
進路セミナーを開催**

検査技術科学専攻では、病院だけでなく企業への就職もある現状を踏まえ、学生がキャリアパスを考えるきっかけの場として、毎年進路セミナーを開催しています。今年は3月20日に開催し、病院検査技師・企業従事者・大学院生ら4名が仕事内容などについて講演しました。講演後には、学生と講師の間で活発な質疑応答がありました。



Go to the laboratory

研究室へGO!

本学には400を超える研究室があり、教員・学生は日々研究に取り組んでいます。一口に研究室と言っても、その特徴はさまざま。教員や学生に研究内容や研究室の雰囲気などの話を伺い、その魅力を伝えます。

量子ビーム材料評価研究室 [地域創造学類]

どんな研究をしていますか？

X線を応用して、工業材料の強度を左右する残留応力を測定する方法についての研究を中心に、機械部品の強度や耐久性の調査などを行っています。鉄道関連企業との共同研究では、試作中の測定装置の有効性を確認するため、終電後、新幹線などのレール上で実証実験を行うこともあります。



専門：材料加工・組織制御工学

[教員] 佐々木 敏彦 教授

この研究室の特徴を教えてください。

自動車や鉄道、航空機などに使われる機械部品の強度評価に関する共同研究を、複数の企業と行っているところです。例えば、平成24年に商品化されたX線応力測定装置の開発をサポートし、当時世界的に主流だった測定装置に比べ、大幅な小型軽量化と測定時間の短縮を実現しました。

学生に聞きました！この研究室の魅力は？

さまざまな企業の方と関わる機会があり、現場の課題やニーズを伺えることが興味深く、とても勉強になることです。また、私たちの生活に必要な自動車や鉄道などを支える技術の開発や発展に立ち会えることがとても嬉しいです。



レール上で疲労強度を調査する様子



学生に研究のアドバイスをを行う佐々木教授

宇宙物理学研究室 (米徳グループ) [数物科学類]

どんな研究をしていますか？

ガンマ線やX線を使って、宇宙の天体現象を観測する研究に取り組んでいます。特に、宇宙最大の爆発現象で、ビッグバンの直後にも発生したとされる「ガンマ線バースト」の観測に注力していて、観測装置の作製やその装置を人工衛星に搭載して得られたデータの解析を行っています。



専門：宇宙物理学、高エネルギー天体物理学

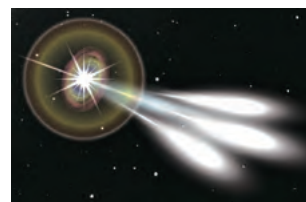
[教員] 米徳 大輔 教授、有元 誠 助教

最近の研究成果を教えてください！

教員・学生が共に開発してきた、ガンマ線バースト観測用の高感度X線カメラのフライトモデルが完成しました。このカメラには、学生のアイデアや情熱がふんだんに盛り込まれています。平成31年に打ち上げ予定の「金沢大学衛星」への搭載を目指し、現在最終調整を進めています。

学生に聞きました！この研究室の魅力は？

学生が中心となって観測装置を開発できるところです。また、金沢大学衛星プロジェクトの一員として、小型衛星の重要なパーツの開発に携われることも魅力です。将来、自分たちが作った観測装置や衛星が宇宙に飛び立つと思うと、とてもやりがいを感じます。



ガンマ線バーストのイメージ図



高感度X線カメラのフライトモデル

金沢大学広報誌「Acanthus」No.41 アンケートにご協力ください



「Acanthus」に関する皆さまのご意見・ご感想を同封はがきまたはQRコードのWebサイトでお寄せください。頂いたご意見は今後の誌面作りの参考にさせていただきます。なお、アンケートにご協力いただいた方の中から抽選で5名さまに、金沢大学オリジナルクリアファイル・メモ帳・あぶらとり紙をセットでプレゼントいたします。

※プレゼント当選者の発表は商品の発送をもって代えさせていただきます。



【応募締切】平成30年10月末日